資 料 5

令和８年度博物館事業の計画案について

事業番号	事業名	事業概要	備考（新規、変更点等）
1	企画展開催費	鳥取県の自然、歴史・民俗、美術分野の資料、作品、研究成果等や、世界的・全国的に貴重な作品等を県民に紹介するため企画展を開催する。 ＜博物館主催＞ ・妖怪・幻獣づくし（仮称） ・名和長年とその一族（仮称） ＜美術館主催＞ ・～鳥取県があつめた美術コレクションでたどる～ 旅するアーティスト　～江戸時代から現代まで（仮称） ＜民間事業者主催＞ ・放送３０周年記念　ＴＶアニメ「名探偵コナン」展	○令和７年度当初予算で債務負担行為設定済
2	企画展開催費（Ｒ９開催分）	令和９年度に開催を考えている企画展について、展示に必要な作品、資料等の所有者等との借用交渉など、開催の前年度から必要な準備を行う。 ＜博物館主催＞ ・恐竜のごちそうたち（仮称） ・忍者展（仮称） ＜民間事業者主催＞ 民間事業者に企画提案から主体的な運営開催をしていただき、博物館は支援する立場で、民間事業者との共同により開催する。	
3	博物館運営費	県民に快適な鑑賞環境が提供できるよう、来館者等から意見を聞きながら、博物館施設の運営を行う。博物館が収蔵している約２０万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。	○防火シャッター更新工事（設計委託） ○備品購入（展示用ＬＥＤスポット照明、冷凍庫、乾燥機） ○防虫・防菌対策（モニタリング調査） ○防虫・防菌対策（棚購入・設置） ○緊急地震速報装置整備
4	自然史事業費	自然史標本（地学・生物）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。	○シルバーウィーク特別展示「新着資料おひろめ展」 ○蛍光鉱物展示装置製作

事業番号	事業名	事業概要	備考（新規、変更点等）
5	歴史・民俗事業費	歴史・民俗資料（考古・歴史・民俗）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。	○展示ケースの照明のLED化 ○丸木舟の移設作業 ○オープンリールテープ「山陰の民謡」をデジタル化（3/3年次）
6	美術事業費	（１）美術資料（附帯意見対象の絵画・工芸作品を中心に）や歴史資料等を、１階の「とっとりの藩と城（第３展示活動室）」（旧美術展示室）を会場に、年４～５回の展示替えで内容が更新されるテーマ性のある常設展示によって広く県民に紹介する。 （２）美術資料（附帯意見対象の絵画・工芸作品）の保存修復を行い、その成果を常設展示により県民に紹介する。	○歴史資料等の展示（館外から借用返納委託）では、松江市内の寺院から幕末期関係の貴重な資料を特別に借用し、展示紹介する予定であるため、その輸送関係経費。
7	学習支援事業費	主に県内の教職員を対象に、博物館の利用方法や収蔵資料を学習資源として活用する方法、授業相談などについて、各分野の学芸員が相談に応じる「ふるさとキャリア教育」の推進や「教育DX」への対応など、新たな社会的ニーズに確実に対応する。 ・博物館から離れた地域でも、学習の機会が提供できるよう行う。 ・県民協力団体・ボランティアと連携を進め協働の中で学習支援を行う。	○学校等の要望による触れる体験ができる出前展示用キットの製作。

令和８年度企画展
「妖怪・幻獣づくし（仮称）」開催要項（案）

１　趣旨

現在はキャラクター化され、さまざまなエンターテインメントの題材として人気を博している日本の妖怪。しかしかつては、人間を超えた力を備えた存在として長らく恐怖と畏敬の対象となってきた。

それは、妖怪が人間にはコントロールできない自然の恐ろしさを具現化したものだったからである。山や海といった、人間たちが生活するテリトリーの外にある世界は、しばしば苛烈な災害をもたらし、多くの人命を奪ってきた。また自然は、一方では人々に恵みをもたらすものであったが、非常に気まぐれで、凶作や不漁によって人々の生死を左右することもあった。こうした自然の恐ろしさを形にしたものが妖怪であったが、そのイメージの源泉となったのは、自然のなかに生きるさまざまな生き物であった。

また、時に異様な姿かたちや超常的な性質を帯びた生き物が目撃され、その死骸や痕跡がまことしやかに人びとの目の前に開陳されることがある。現代ではUMA（未確認動物）と呼ばれることもある、これら超常的な生物を「幻獣」と呼ぶ。幻獣は、妖怪と実在の生物とのあいだを揺れ動きながら、この世界の限界を超えるものとして人びとを魅了する。

この展覧会では、妖怪や幻獣をとおして、日本人と自然とのかかわりの歴史を明らかにしていく。

２　主催

鳥取県立博物館・読売新聞社

３　特別協力

兵庫県立歴史博物館

４　会期

令和８年７月４日（土）～８月３０日（日）：５８日間

※７月６日（月）、７月１３日（月）、７月２１日（火）、７月２７日（月）、８月３日（月）、８月１７日（月）、８月２４日（月）は休館

５　会場

鳥取県立博物館　第１・第２特別展示室

６　観覧料

一般１，０００円（前売り・団体８００円）

※大学生以下の方、７０歳以上の方、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

７　展示構成

第Ⅰ部　妖怪の自然史

妖怪は自然に対する恐れの中から生まれ、日本人の自然に対する認識の変容とともにその形を変え、現在の日本人の妖怪観につながっている。ここでは古代から江戸時代に至る妖怪観の変遷を、自然とのかかわりの中でたどっていく。

Ⅰ－１　ヤマタノオロチからツチノコへ
Ⅰ－２　狐と天狗
Ⅰ－３　怪鳥たちの夜
Ⅰ－４　妖怪になった生き物たち
Ⅰ－５　河童
Ⅰ－６　変容する自然観と妖怪

第Ⅱ部　幻獣見聞録

実在と非在のあわいを揺れ動く幻の生き物――「幻獣」を目撃したという記録は、古代から散見されるが、江戸時代になると「幻獣」は盛んに絵に描かれ、またその実物と称されるものが見世物として多くの人びとの目に触れるようになっていった。ここでは、さまざまな「幻獣」に関する見聞の記録と、ミイラや体の一部など「実物」とされるものを展示する。

Ⅱ－１　怪遺物たち

Ⅱ－２　予言獣

Ⅱ－３　幻獣出現の記録

第Ⅲ部　柳田國男から水木しげるへ―現代妖怪文化の源流―

兵庫県出身で日本民俗学の父とされる柳田國男は、その民俗学的研究の初期から妖怪に関心を持ち、長らくその事例を収集してきた。その成果は『妖怪談義』という晩年の著作に反映されているが、柳田が紹介した妖怪たちに姿かたちを与え、キャラクターとして広く浸透させたのが、鳥取県で幼少期を過ごした漫画家の水木しげるであった。ここでは、現代の妖怪観を作り上げた二人の功績について紹介する。

８　関連事業（予定）

７月４日（土）午前１０時、午後２時　特別ギャラリートーク　香川雅信
（兵庫県立歴史博物館学芸課長）

８月９日（日）午後２時　特別講演会「幻獣のすべて」湯本豪一
（日本妖怪博物館三次もののけミュージアム名誉館長）

妖怪・幻獣づくし展示資料イメージ

寛政３年（1791）鳥取城下に落下した
「雷龍」（日本妖怪博物館所蔵）

橋本秀峰「妖怪変化図巻」
（渡辺美術館所蔵）

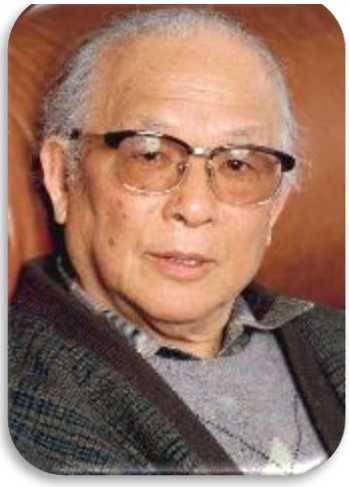
天狗の爪
（鹿野・譲伝寺所蔵）

異鳥図（兵庫県立歴史博物館所蔵）

鳥取県でくつろぐ鬼太郎一家（水木プロダクション所蔵）

柳田國男（1875－1962）

土人形（おとん女郎・桂蔵坊）
（鳥取県立博物館所蔵）



水木しげる（1922－2015）

令和８年度企画展
「名和長年とその一族」開催要項（案）

１　趣旨

鳥取県西伯郡大山町御来屋周辺を本拠地としていた武士・名和長年は、鎌倉幕府討幕を目指す後醍醐天皇を船上山（現・琴浦町）に迎え入れ、鎌倉幕府の追討軍を破り多大な功績をあげたことで広く知られています。後醍醐天皇が船上山から発した命令を受けた足利尊氏が鎌倉幕府方から離反したことにより幕府滅亡が決定的となったため、名和長年の活躍は日本の歴史の分岐点となったともいえます。また、名和長年の死後その一族たちは、肥後国（現・熊本県）に移り八代において大きな力を持ち、豊臣秀吉による九州平定に至るまで宇土城（現・宇土市）主として戦国時代を生き延びました。

本展示では、名和一族の鎌倉時代から近代にいたるまでの活動を、資料を通して紹介します。また、名和長年とその一族が歴史の表舞台に如何にして現れ、歩んでいったかに光を当てます。さらに、名和男爵家伝わった文書や名和長年とその一族を祭神として崇敬を集めている名和神社の宝物と関連資料を一堂に展示します。

２　会　期

令和８年１０月３１日（土）から１１月２９日（日）：３０日間
※１１月２日（月）、１１月９日（月）、１１月１６日（月）、１１月２４日（火）は休館

３　会　場

鳥取県立博物館　第１・２特別展示室

４　主　催

鳥取県立博物館

５　観覧料

７００円（前売り・２０名以上の団体５００円）
※大学生以下の方、７０歳以上の方、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

６　主な展示品

後醍醐天皇自筆宸翰（国立歴史民俗博物館所蔵）、太平記絵巻（埼玉県立歴史と民俗の博物館・国立歴史民俗博物館）、名和系図・古本伯耆巻（名和神社・個人蔵）、後醍醐天皇綸旨（出雲大社文書）、名和氏老中連署状（相良家文書等）。

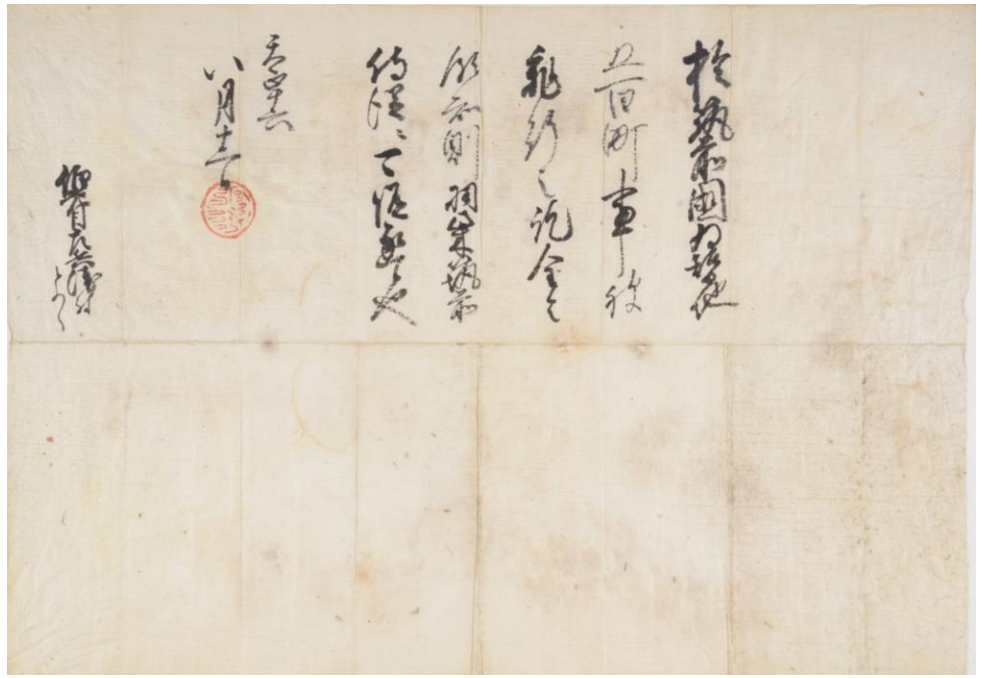
７　展示構成

プロローグ　鎌倉時代の政治と後醍醐天皇
　第一章　名和長年と鎌倉幕府の討幕
　第二章　名和長年と建武新政
　第三章　名和長年とその一族の歴史
エピローグ　名和長年とその一族の語られ方

８　関連事業

名和一族シンポジウム

展示イメージ



・【重文】絹本着色後醍醐天皇像（清浄光寺所蔵）
・名和長年・長重像（個人蔵）
・【県指定】豊臣秀吉朱印状（「名和神社文書」名和神社所蔵）
・【初公開】古本伯耆巻（名和神社所蔵）

令和８年度　企画展
～鳥取県があつめた美術コレクションでたどる～

旅するアーティスト　～江戸時代から現代まで（仮称）

開催要項

１　趣旨

鳥取県はこれまで、県立博物館と県立美術館を拠点に５０年以上の歳月をかけてさまざまな美術作品を収集してきました。その収集方針は、「鳥取県の美術」を中心に、「国内外の優れた美術」、「同時代の美術の動向を示す作品」によって構成され、江戸時代から現代まで幅広く優れた美術作品を紹介できるよう、各分野を専門とする学芸員を中心に積極的に収集活動を行っています。そのようにして集められた作品群を、より多くの県民の方々に楽しんでいただくため、鳥取県では、県東部地区に位置する鳥取県立博物館の特別展示室を会場に、選りすぐりの作品によって展示内容を組み立て、企画展として開催しています。

令和８年度の企画展では、テーマを「旅するアーティスト」として、江戸時代から現代までの各時代のアーティストたちが制作した作品を、「旅」をキーワードに見つめ直し、セレクトして展示します。作家自身が実際に旅をしたり、留学をしたりする中で制作した作品や、旅する人物を題材とした作品、そして自らの想像世界における「内なる旅」の成果物とも呼ぶべき作品など、さまざまな視点で旅を捉え、多様な作品をコレクションからご紹介いたします。

２　会期

令和９年２月２０日（土）～３月１４日（日）（２１日間）
※休館日：３月１日（月）、８日（月）

３　主催

鳥取県立美術館

４　共催

鳥取県立博物館

５　会場

鳥取県立博物館２階　第１、第２特別展示室

６　観覧料

一般：４００円（２０名以上の団体：３００円）
※大学生以下、７０歳以上、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

７　展示内容

「鳥取県の美術」、「国内外の優れた美術」、「同時代の美術の動向を示す作品」の各収集方針カテゴリーの作品から、江戸時代から現代までの作家による作品合計１５０点程度を選定し、紹介します。

８　関連事業（予定）：

・外部講師による、出品作品と関連した内容のワークショップ
・学芸員と一緒にめぐるギャラリー・クルーズ（作品の楽しみ方をレクチャー）

９　担当

地域社会振興部美術館学芸課長　三浦努
電話０８５８－２４－５４４１

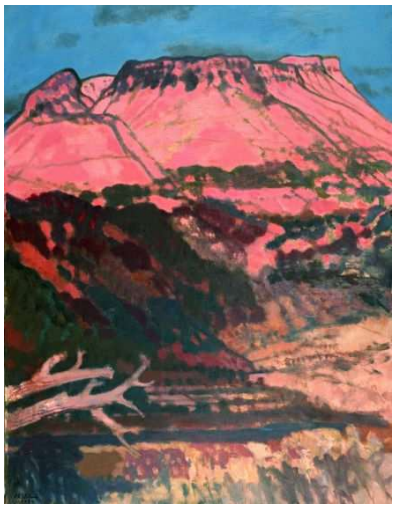
令和８年度　企画展

旅するアーティスト　～江戸時代から現代まで（仮称）

出品候補作品画像

正墻適処《山水図》絹本墨画淡彩

中住道雲《極蜜馬上行図》
（左幅）絹本著色



伊谷賢蔵《万年山早春》
油彩・カンヴァス

小早川秋聲《世界の月シリーズ》
紙本著色

前田直衛《室生寺金堂》紙本著色

リクリット・ティラヴァニ
《無題 2024（小さな水滴が美しい海となる）》
紙（日本海新聞）・インク

令和８年度　民間が主催する企画展への共催参加について

令和８年２月４日
鳥取県立博物館

１　共催参加の趣旨

県立美術館の開館に伴い、博物館から美術分野の大半が移転した後も、当館における県民サービスを低下させないため、これまでどおり年間４件の企画展を開催することとし、その内容（開催形態）は次のとおりとする。

区　　分	件数
博物館の企画・運営	２件
美術館の企画・運営	１件
民間事業者が開催する企画展へ共催参加	１件
計	４件

民間事業者との共催については、令和６年度に新日本海新聞社主催「古代エジプト美術館展」に共催参加し、令和８年度は日本海テレビジョン放送が主催する企画展に共催参加する。

２　共催参加の内容

（１）博物館からの支援

ア　展示室使用料の減免
イ　人的支援
　（ア）看視員の配置
　（イ）受付員の増員
　（エ）物販販売員の配置
ウ　事業費支援
　（ア）駐車場警備
　（イ）法務局駐車場の使用手配
エ　負担金

（２）事業者への依頼事項

ア　学生以下の入場料の無料化
イ　博物館協力者等の招待枠の確保

３　企画展の内容

（１）名　　称　　放送 30 周年記念　ＴＶアニメ「名探偵コナン」展
（２）内　　容　　アニメ名探偵コナンの裏表を盛り込んだ大展覧会。コンセプト会議・設定・シナリオ、また主題歌の制作・声優のアフレコなどの要素が深く関わり徐々に色づく空間でどのようにアニメーションが完成していくのかを体感できる。
（３）会 期 等　　令和８年４月４日（土）～令和８年４月 26 日（日）　23 日間
　※休館日は４月６日（月）のみ
（４）会　　場　　鳥取県立博物館　第１・第２特別展示室
（５）主 催 等　　主催：日本海テレビジョン放送株式会社　　共催：鳥取県立博物館
（６）入 場 料　　一般 1,900 円（前売 1,700 円）
　大学生以下無料（その他の減免対象者は調整中）

放送 30 周年記念　ＴＶアニメ「名探偵コナン」展について

R7.12.3（株）小学館集英社プロダクション（ShoPro）発表資料より

1　イメージ画像

©青山剛昌／小学館･読売テレビ･TMS 1996

2　国内巡回スケジュール

会　　期	地区	会　　場
R8.2.20（金）～3.29（日）	東京	東京ドームシティ プリズムホール
R8.4.4（土）～4.26（日）	**鳥取**	**鳥取県立博物館**
R8.5.2（土）～5.31（日）	札幌	サッポロファクトリー3 条館 3 階 特設会場
R8.6.6（土）～7.5（日）	仙台	（後日発表）
R8.7.11（土）～8.16（日）	大阪	読売テレビ本社 特設会場
R8.8.22（土）～9.13（日）	前橋	（後日発表）
R8.9.19（土）～10.12（月祝）	広島	ＮＴＴクレドホール
R8.10.17（土）～11.8（日）	松山	南海放送本町会館
R8.11.14（土）～12.6（日）	横浜	横浜赤レンガ倉庫 1 号館 2F スペース・3F スペース
R8.12 月中旬～R9.1 月中旬	名古屋	（後日発表）
R9.1.16（土）～2.14（日）	静岡	キラメッセぬまづ
R9.2 月下旬から 3 月下旬	福岡	（後日発表）